



最初にお読みください

CentreCOM® AR570Sリリースノート

この度は、CentreCOM AR570Sをお買いあげいただき、誠にありがとうございました。
このリリースノートは、取扱説明書（613-000451 Rev.B）とコマンドリファレンス（613-000273 Rev.B）の補足や、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。
最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1 ファームウェアバージョン 2.8.1-05

2 本バージョンで追加された機能

ファームウェアバージョン 2.8.1-02 から 2.8.1-05 へのバージョンアップにおいて、以下の機能が追加されました。

2.1 Port Restricted Cone NAT

 **参照** 「コマンドリファレンス」 / 「ファイアウォール」

Port Restricted Cone NAT をサポートしました。

設定は、ADD FIREWALL POLICY NAT コマンドの NAT パラメーターに ENAPT を指定し
ます。

2.2 TLS で暗号化された FTP 転送に対するファイアウォール機能の拡張

 **参照** 「コマンドリファレンス」 / 「ファイアウォール」

ファイアウォール使用時、TLS にて暗号化された FTP データを転送できるように機能を拡張
しました。

3 本バージョンで仕様変更された項目

ファームウェアバージョン 2.8.1-02 から 2.8.1-05 へのバージョンアップにおいて、以下の
機能が仕様変更されました。

3.1 IP

 **参照** 「コマンドリファレンス」 / 「IP」

パケット転送時、IP checksum に 0xFFFF を使用しないよう、仕様を変更しました。

4 本バージョンで修正された項目

ファームウェアバージョン 2.8.1-02 から 2.8.1-05 へのバージョンアップにおいて、以下の
項目が修正されました。

- 4.1 Ethernet ポートがリンクダウンしているにも関わらず、SHOW INTERFACE=ETH0/
ETH1 コマンドにてインターフェースの帯域幅の値が表示されていましたが、これを修正しました。
- 4.2 PPPoE において、網側から PADT を受信した場合に、PADI を送信しませんでした、これを修正しました。(本項目は、前バージョン 2.8.1-02 で修正されています。)
- 4.3 PPPoE の LAN 型払い出しの構成において、PPP インターフェース宛の PING に対して、LAN 側の IP アドレスを送信元アドレスとして応答していましたが、これを修正しました。(本項目は、前バージョン 2.8.1-02 で修正されています。)
- 4.4 PING コマンドの TIMEOUT パラメーターの指定範囲に不正な値を表示していましたが、これを修正しました。TIMEOUT パラメーターに指定可能な値の範囲は 1 ~ 60 です。
- 4.5 IPv6 において、宛先への経路が複数存在する場合に経路表の更新処理が正しく行われなかったことがありましたが、これを修正しました。
- 4.6 ADD IPV6 PREFIX コマンドを、IPv6 インターフェースと同じ IPv6 アドレス / プレフィックス長を指定して実行した場合、再起動後の設定に反映されませんでした、これを修正しました。
- 4.7 (PIM-SM) DR でないインターフェースにおいて、マルチキャストグループが登録されている状態で IGMP Report を受信すると、PIM Join メッセージを送信していましたが、これを修正しました。
- 4.8 (PIM-SM) ランデブーポイントルーターとして動作した場合に、Resister メッセージに対して Stop メッセージを返信していませんでしたが、これを修正しました。
- 4.9 IGMP Snooping 有効時にグループメンバーを登録しているにもかかわらず、すべてのポートにマルチキャストパケットを転送していましたが、これを修正しました。
- 4.10 ファイアウォール有効時、3wayhandshake 完了後、データ転送が行われないセッションを未確立セッションとカウントしていましたが、これを修正しました。
- 4.11 ファイアウォールとローカル IP インターフェースを併用した場合、ローカル IP インターフェース宛での通信が行えませんでした、これを修正しました。
- 4.12 SHOW FIREWALL EVENT コマンドにて表示されるイベント数に誤りがありましたが、これを修正しました。
- 4.13 VPN 使用時、Path MTU Discovery によって通知される MTU 値が不正な場合がありますでしたが、これを修正しました。
- 4.14 SNMP 使用時、一時的に若干スループットが低下する場合がありますでしたが、これを修正しました。

5 取扱説明書・コマンドリファレンスの補足・誤記訂正

同梱の取扱説明書（613-000451 Rev.B）、およびコマンドリファレンス（613-000273 Rev.B）の補足および誤記訂正です。

5.1 WAN ロードバランス機能（サポート予定）

 **「取扱説明書」 17,18,144 ページ**

本製品では、AT-FL-15（フィーチャライセンス：別売）を利用した WAN ロードバランス機能は現在未サポート（サポート予定）です。

5.2 PING コマンド

 **「コマンドリファレンス」 / 「IP」**

PING コマンドの TIMEOUT パラメーターの指定範囲が [TIMEOUT=0..65535] と記載されていますが、正しくは、[TIMEOUT=1..60] となります。訂正してお詫びします。

5.3 SET IPSEC BUNDLESPECIFICATION コマンド

 **「コマンドリファレンス」 / 「IPsec」**

SET IPSEC BUNDLESPECIFICATION コマンドの EXPIRYKBYTES パラメーターの指定範囲は [EXPIRYKBYTES=1..2000000000] と記載されていますが、バージョン 2.8.1-02 以降、最大値が 4193280 に変更されました。

最大値を超えて指定した場合、4193280 が設定されます。

6 取扱説明書とコマンドリファレンスについて

最新の取扱説明書（613-000451 Rev.B）とコマンドリファレンス（613-000273 Rev.B）は弊社ホームページに掲載されています。

本リリースノートは、上記の取扱説明書とコマンドリファレンスに対応した内容になっていますので、お手持ちの取扱説明書、コマンドリファレンスが上記のものでない場合は、弊社 Web ページで最新の情報をご覧ください。

※ パーツナンバー「613-000273 Rev.B」は、コマンドリファレンスの全ページ（左下）に入っています。

<http://www.allied-telesis.co.jp/>